

令和5年度 学校経営方針

校長 杉本 和博

＜基本方針＞

赴任初年度となる今年度は、前校長の「基本方針」を踏襲しながら学校経営を始動していきます。そして学校経営を進める中、本校の実態を把握しながら適宜柔軟に対応していきたいと考えています。

本年度、生徒・教職員・保護者・地域で力を合わせ創造していきたい学校の姿は、以下の通りです。

温かい人間関係を基盤として、

- 生徒と教師が共に学び合い育ち合う学校
(全人格的成長、リスペクト、感謝、同僚性)
- いじめ・暴力・からかいのない安心して学べる学校
(人権尊重、生徒自治、学びの保障)
- 「人を信じ未来を信じて生きる力」を育む学校
(心の居場所、絆づくり、人生の基盤)

そのために、

＜共有したい認識＞

- ・ 生徒指導の基盤は信頼関係。教育相談等を活かし、子供の声に耳を傾け気持ちを聴き取る。
(子供の話を聴かない大人の言葉は、子供の心に響かない)
- ・ 子供は発展途上の存在。自主性を尊重しつつも大事なことはきちんと教える。
(また、「学校は失敗を経験できる所」の認識を、生徒・保護者とも共有)
- ・ 保護者・学校・地域、三者の信頼関係の上に学校教育は成立する。
(互いの願い・思いを伝え合い、良い関係を構築)

雄山中学校の教育

【校訓】

かざせよ高き理想
かさねよ厚き工夫

たずねよ深き真理
鍛えよ 強き身体

【学校の教育目標】

高い理想を掲げて未来を語り、自己を鍛え続ける雄中生
～学び合い 認め合い 高め合う～

【学校づくりスローガン】

明るい学校 楽しい学校 美しい学校

【重点目標】

1 信頼関係を基盤とした組織的な指導と支援

- ・教育相談の日常化
- ・教職員による情報共有と教育実践
- ・特別支援教育の視点を取り入れた生徒理解

2 温かい人間関係づくりと「心の教育」

- ・全教育活動を通じた道徳教育
- ・成長を促し人間感覚を磨く「振り返りの場」

3 生徒の手による活動（生徒自治）の推進

- ・中学生目線で創り上げる雄山中学校ならではの活動
- ・自己肯定感を高める機会の創出

4 学力の向上

- ・生徒が主役となる「主体的・対話的」な学び合いの授業
- ・学びの基盤となる読解力を高める活動（「新聞コラム」学習）